

1 単元名 説明のしかたについて考えよう
「アップとルーズで伝える」

2 単元目標

- ・説明文の書き方に関心を持ち、進んで説明の特徴を見つけようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
(読む能力)
- ・写真と文章を対応させながら、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめることができる。
(書く能力)
- ・文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続語の役割を理解することができる。
(言語についての知識・理解・技能)

3 単元について

各段落の役割や、段落相互の関係について考える学習は、3年生の説明的な文章の教材から学習を重ねている。本単元では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえる。また、筆者の説明の工夫について考えてまとめる学習をする。

本教材は、分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学ぶのに適した文章である。写真と文章が対応されていること、対比して述べられていること、写真から読み取れることが文章で描写されていることなどを意識させることで、よりよい説明のしかたについて考えることができる。また、ここで学習した文章構成と説明のしかたの工夫は、次単元『仕事リーフレット』を作ろうの書く活動につながっていく。

4 児童について
(略)

5 指導について

本教材では、それぞれの写真を説明する段落を見つけさせ、段落どうしが対比関係になっているだけでなく、段落の中でも文章どうしの対比が用いられていることに気付かせたい。そのうえで、段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えさせたい。

本時では、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所をよりよく理解させるために、本教材と同じ型で文章を書かせる。その際、全員が共通理解できるように、教師が用意した写真を使い文章を書かせる。まず、「アップ」と「ルーズ」の写真を提示し、それぞれの長所をつかませる。その後、学級全体で「アップ」に関する文章を作成する。それを基にして、「ルーズ」に関する文章を一人一人が作成する。ここで作成する対比して述べるという説明の工夫は、自分が話したり書いたりして何かを説明する際にも使えるという意識をもたせたい。このことは、国語以外の学習においても生かすことができ、本校の研究主題である「未来につながる力」につながると考えられる。

6 指導計画（8時間配当）

- | | | |
|-----|-------------------------------------|----------|
| 第1次 | 上手な説明のしかたを見つける学習計画を立てる。 | (1時間) |
| 第2次 | 写真と文章の対応関係を読み取る。 | (1時間) |
| | 「アップ」と「ルーズ」の長所と短所をつかむ。 | (1時間) |
| | 「アップ」と「ルーズ」が目的に応じて使い分けられていることを読み取る。 | (1時間) |
| | 文章全体の構成をつかむ。 | (2時間) |
| | 「アップとルーズで伝える」の説明のよさをまとめる。 | (1時間) |
| 第3次 | 対比して述べる説明的文章を書く。 | (1時間 本時) |

- 7 本時の目標
 ・アップとルーズの長所と短所を意識して、対比した文章を書くことができる。

- 8 準備物
 「アップ」と「ルーズ」の写真（掲示用），ワークシート

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援（・）と 評 価（☆）
<p>○今までの学習を振り返る。</p> <p>○写真を見て、本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「アップ」と「ルーズ」で伝える文章を書こう。</p> </div> <p>○「アップ」の写真を見て、気が付くことを発表する。</p> <p>○「ルーズ」の写真を見て、気が付くことを発表する。</p> <p>○「アップ」で伝えられるものと伝えられないものを表す文章を考える。</p> <p>○「ルーズ」で伝えられるものと伝えられないものを表す文章をワークシートに書く。</p> <p>○友達の文章と読み比べる。</p> <p>○今日の学習を振り返り、分かったことや興味をもったことを発表する。</p>	<p>・「アップ」と「ルーズ」それぞれの長所と短所を確認する。</p> <p>・「アップ」と「ルーズ」の写真を提示する。</p> <p>・写真の細かい部分に着目させる。</p> <p>・写真の広い範囲の様子に着目させる。</p> <p>☆「アップ」と「ルーズ」の違いを意識して、写真を読み取ろうとしている。 （発表・・・関・意・態）</p> <p>・写真を見て気が付いたことを並べ替えて、文章を作らせる。</p> <p>・本教材と同じ型を提示し、文章を考える手助けとする。</p> <p>・書くことが選べない児童には、板書された言葉を限定して提示する。</p> <p>・早く書き終わった児童には、板書された「アップ」の文章をアレンジしてワークシートに書かせる。</p> <p>☆「アップ」と「ルーズ」の文章を対比して書いている。 （ワークシート・・・書く）</p> <p>・友達とのとらえ方の違いを意識させる。</p> <p>・対比して書くことを、次単元『仕事リーフレット』を作ろう」や、かがやきの福祉体験発表会で生かしていくように助言する。</p>

- 10 授業の観点
 ・本教材と同じ型を使って文章を作ることは、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を理解させるのに効果的であったか。